



土砂災害への備え

～危険を知り、早めに備える～

令和8年度第1回自主防災リーダー養成研修会

伊勢原市企画部危機管理課

2024年8月30日 台風第10号に伴う大雨（新善波トンネル付近土砂崩れ）

VREW

提供：明成建設株式会社

0035.3844 0139.2542 005 km/h
2024/08/30 07:05:35

本日の講習内容



1. 土砂災害とは

がけ崩れ、土石流、地すべりなど、土砂災害の基本的な種類と特徴を解説します



2. 危険箇所とメカニズム

どのような場所で、なぜ土砂災害が発生するのか、その仕組みと危険な場所を解説します



3. 日頃の備えと避難行動

いざという時に命を守るためハザードマップの活用や、早めの避難のポイントを解説します

土砂災害の3つの種類



がけ崩れ

急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。崩れ落ちるスピードが速いため、逃げ遅れる危険性が非常に高くなります



土石流

谷や沢の土砂が雨水と混ざり泥水となって猛スピードで流れ下る現象です。破壊力が大きく、広範囲に被害を及ぼします



地すべり

緩やかな斜面の一部が、地下水の影響でゆっくりと塊のまま滑り落ちる現象です。広範囲で地盤が動くため、被害が甚大になります

※伊勢原市は該当箇所なし

土砂災害が発生するメカニズム

雨水が地盤を緩める

大雨や長雨が降ると、地中に大量の水がしみ込みます。水を含むことで土の重さが増すとともに、土同士をくっつけている力が弱まり、斜面や地盤が極めて不安定な状態になります。

突然発生する危険性

土砂災害は「前触れなく突然」発生することが多くあります。また、雨が止んだ後でも、地中に残った水の影響で崩れることがあるため、地震の後や台風の通過時にも厳重な警戒が必要です。

土砂災害が発生しやすい場所

- ▶ **急な斜面の近く**
傾斜が急な場所（目安として30度以上）や、高さがある崖の周辺。
- ▶ **山や崖の近く、山際**
山が迫っている住宅街は、崩れた土砂が直接届きやすい場所です。
- ▶ **谷筋、沢沿い**
水が通りやすい地形は、土石流の通り道になります。
- ▶ **過去に崩れたことがある場所**
一度崩れた斜面は、再度崩れる危険性が高い場所です。



ハザードマップで確認すること

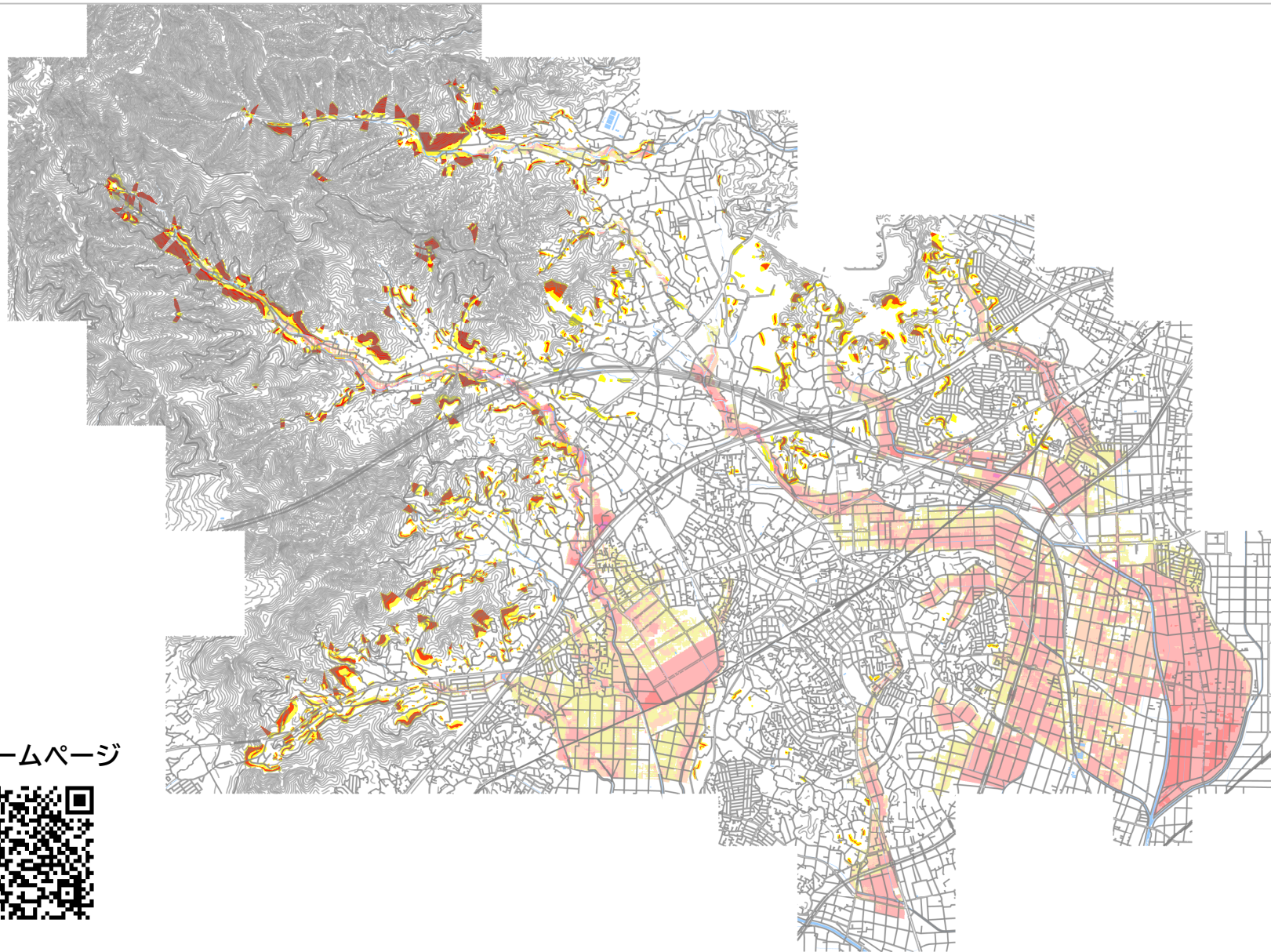


自宅や避難経路の安全をチェック

お住まいの場所や職場が、「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」や「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に入っていないか、ハザードマップで必ず確認しましょう。

また、指定されている避難所の場所だけでなく、「そこへ向かうための道（避難経路）」が安全かどうか、事前にチェックしておくことが命を守る第一歩です。

伊勢原市洪水・土砂災害ハザードマップ



市ホームページ



過去の災害から学ぶ：早期避難の重要性

0名

2022年新潟県村上市の事例
(死者・行方不明者)



教訓と声かけが命を救う

2022年8月、新潟県村上市では豪雨により家屋12棟が全半壊する甚大な土砂災害が発生しました。

しかし、明け方の災害だったにも関わらず、死者・行方不明者はゼロでした。55年前の災害の記憶を持つ住民が、過去の教訓を活かして互いに声を掛け合い、早めの避難を行ったことが、全員の命を救いました。

出典：政府広報オンライン

土砂災害への日頃の備え



1. 情報収集

大雨の際は、気象情報や自治体からの避難情報、気象庁の「キキクル（危険度分布）」などをこまめに確認する習慣をつけましょう



2. 避難先を複数確保

避難所だけでなく、安全な場所にある親戚や知人の家、ホテルなども避難先の候補として事前に考えておきましょう



3. 非常持出品の準備

すぐに逃げられるよう、水、食料、薬、懐中電灯などをリュックサックにまとめ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう

避難のタイミング・判断ポイント





危険を感じたら、 迷わず早めに避難する！

夜間や雨が強くなってからの避難は、かえって危険です。

大雨警報や、警戒レベル3（高齢者等避難）が出た段階で、お年寄りや小さなお子様がいるご家庭は避難を開始してください。

「まだ大丈夫だろう」という油断は禁物です。明るいうちに、安全な場所へ移動しましょう。

まとめ：命を守る4つのステップ

-  危険箇所を知る ハザードマップで自宅や周辺のリスクを把握する
-  情報を確認する 気象情報、キキクル、自治体の避難情報をこまめにチェックする
-  早めに避難する 夜間や豪雨になる前、明るいうちに安全な場所へ移動する
-  日頃から備える 非常持出品の準備と、家族で避難のルールを話し合っておく